

元町上町会で待望の新しい防災倉庫が完成しました。あわせて地域住民が参加する実践的な防災セミナーを開催しました。従来の防災倉庫は公民館の横に設置されていましたが、災害時の安全性を考慮して、より被害リスクの少ない安全な場所へと移設しました。新しい倉庫の整備を機に住民の防災意識を高めようと企画されたセミナーには多くの方が集まってくれました。

当日は町会長が自らの阪神・淡路大震災での被災経験を語り、当時の過酷な状況や事前の備えの重要性を訴え、その後行われたグループワークでは、実際に巨大地震や巨大台風が発生した場合を想定し防災直後に自分たちがどう行動すべきか、避難行動や救助体制、避難所での互助などについて活発に意見を交わしました。各グループからの発表では、具体的な課題や地域ならではのアイデアが多く共有されました。

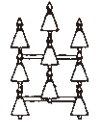
参加者からは「阪神淡路の実体験を聞き、災害を自分事として捉え直すことができた」「安全な新倉庫の場所を確認でき住民同士で話し合えたことで大きな安心感につながった」といった声が上がりました。新しい防災倉庫の設置からセミナーを実施したことにより、地区全体の防災力が一段と高まる一日となりました。

元町上町会 腰原身江子



「自分事」として備えを 新防災倉庫とセミナーで高める地域の防災力





城東

● 城東地区 ●

1996 世帯

男 1682 人

女 1821 人

合計 3503 人

R8.9.1 現在



▲セミナーの様子



安全な場所に新しく設置されました



公民館の横に設置されていました

北上横田町の公民館長に就任して6年が過ぎました。昨年と同じ頃に原稿を書いていましたが、早いもので1年が過ぎてしまいました。昨年は、北上横田町公民館で開催される演芸会に關して書きましたが、この演芸会も続いていて、9月6日に6回目が行われました。この6回目の演芸会は落語、朗読、マジックの3本立てを行いました。出演者の方々に大変な努力をしていただき、その都度出演者の方の出し物が変わっています。例えば落語の中田さんにお聞きしたところ、今回の演目は本邦初公開になるそうですが、覚えるまでに4カ月かかったそうです。なかなかその過程は目に見えない物ですが、一つ一つの事柄の裏には大変な努力がある事を見逃さない様にできたら良いと思います。

出演者の皆さんの努力のおかげで、楽しい時間を過ごす事ができていますし、参加された方々にもっと楽しんでもらえたらもっと良いと思います。

北上横田町の公民館では演芸会の他に、毎週水曜日の百歳体操と第3水曜日の城西病院の「S」ウエルネスクラブ松本より、健康体操指導士の方に公民館に来ていただき、健康体操の指導をしていただいています。健康体操も始めてから3年程になりますが、健康体操の時だけ来られる方もいらっしゃるようですし、指導者の方も早めに来られ、町内の方とのコミュニケーションを取っていただき、「痛いところまで我慢しないでね」とか「息していますか」とか冗談も言いながら、楽しく健康運動ができています。百歳体操は松本市のいきいき百歳体操のDVDに合わせて行っています。百歳体操と健康体操は合わせて280回程になりますが、継続は力となりますし、体操もする人とならない人では、いずれ大きな差と

北上横田町の公民館活動 演芸会と健康づくり



北上横田町 演芸会

第六回北上横田町演芸会のご案内
日時：令和 8 年 9 月 6 日 (日) 10 時 開演
場所：北上横田町公民館

演目 出演者 演題
落語：あおぼし亭よし吉 (本名：中田 芳典)



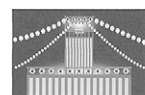
朗読：岸川みゆき さん



マジック：井垣 陽子 さん



佐々木政談



宮沢賢治 祭りの晩



陽子マジック

暑い日が続いていますが、皆さんお変わりなくお過ごしでしょうか。
来る 9 月 6 日 (日) 第六回北上横田町演芸会を開催します。
今回は、落語、朗読、マジックの演芸会です、皆さんと一緒に楽しむ時間を
過ごしたいと思っています。
老若男女問わず、大勢の方のご参加をお待ちしています。
演芸会終了後は今まで通りお茶会を行いますので、お声かけあい大勢の方の
ご参加をお待ちしています。尚、公民館では冷房が効いています。公民館での
熱中症の心配は少ないと思いますが、公民館への道中はお気を付け下さい。



なると思いますので、今後
もできるだけ大勢の方に参
加していただき、続けてい
きたいと考えています。

北上横田町会 川上明



▲講演会チラシ

▲日頃の成果によって皆さんお上手です

今年の夏も厳しい暑さと
なりましたが、夏の恒例行
事、青山様・ぼんぼんの時
期がやってきました。
元町中町会でも、少ない人
数ではありますが子ども達
が中心となり、8月15日に
無事行うことができました。
今回はこの青山様・ぼん
ぼんについて紹介します。
市内各地区で行われてい
る青山様・ぼんぼんは、江
戸時代末期頃から松本市の
本町、中町、東町あたりを
中心に始まり、その後市内
全域に広がったと伝えられ
ており、平成13年には長野
県の選択無形民俗文化財に
指定されています。(松本市
ホームページ参照)
私が子どもの頃は、数日
間(何日か忘れましたが)夜
間に行われており、小学
生の男の子達が法被姿に提
灯を持ち、高学年が神輿や
賽銭箱を担いで列を成し、
その後方では浴衣姿で提灯
を手にはんぼんを歌う女の
子達の列が続く、公民館を
出発して町内を回りながら

青山様・ぼんぼん

近くの「岡宮神社」までを
往復する行程で、最終日に
は女鳥羽川の河原で、みん
なで花火をして終了という
のが、私が小学生の頃の青
山様の記憶です。
私も元町中町会では、
子どもの数が極端に少なく
なり(どこも一緒ですか?)、
実施日も1日のみとかつて
の規模から大幅に縮小して
はいますが何とか継続でき
ており、本年度は小学生全
員で9名と保護者の皆さん
とで無事行うことができました。
かつて元町中町会で使用
していた立派な神輿や賽銭
箱は、過去に発生した公
民館火災の際に焼失してし
まっているため、毎年ベ
スとなる素材に子ども達と
保護者の皆さんで飾り付け
をして「その年の神輿」を
作り、みんなで担いで町内
を回っています。
子ども達が少ないのは、
どこの地区も同じで悩みの
ひとつとなっていることと
思いますが、一時期青山様・



▲皆さんで飾り付けをした神輿

ぼんぼんがすたれかけてい
た際に、市民有志の方々の
ご尽力によって盛り返し、
現在に至るとも言われてい
ます。
江戸時代末期からと考え
ると、約150年ほど続い
ている伝統行事です。将来
子ども達が全くいなくなる
とは考えにくいですが、ま
たかつてのような大勢の子
ども達で、賑やかな青山様・
ぼんぼんができるようにな
るまで、存続できることを
祈るばかりです。

元町中町会 池田裕司